

「関西企業フロントライン」ワークショップ in 東京 開催報告

日 時：平成31年2月26日(火)
14:00～16:00(17:00まで交流会)
場 所：ラーニングスクエア新橋 6F ABC会議室
主 催：経済産業省 近畿経済産業局
参加人数：100名（関西企業への就職・転職、関西への
進出・拠点拡大に関心のある首都圏の大学生・
社会人・民間事業者等）



関西のビジネス環境や関西の新しい働き方、女性活躍、ベンチャー企業のリアルな魅力を身近に感じていただけるワークショップを東京で開催しました！



挨拶 近畿経済産業局
産業部長 志賀 英晃

<イントロダクション>

■最新の関西ビジネス環境の実態と首都圏との比較 経済産業省近畿経済産業局 中小企業政策調査課長 細川 洋一

- ・ 関西では、首都圏企業の積極的な進出が相まって、人材獲得競争が高まっている。
- ・ 大阪・関西万博の開催に向け、人口流出の改善が期待されている。
- ・ 関西企業の新陳代謝が活発化している。人材流動化も加速し、成長意欲企業は着実に前進している。



<セッション1：首都圏だけじゃない！新しい働き方と女性活躍！>

■実践！働き方改革と関西の魅力

コクヨ株式会社 働き方改革アドバイザー/SSIN代表 坂本 崇博 様

- ・ 10年以上前から働き方改革のサポートを行っている。関西のGDPを上げるためには、生産性を向上させることが必要。
- ・ 生産性を「やること」「やり方」「やる力」の3つに分解し、それぞれを上げる工夫をしなくてはならない。
- ・ 改革を起こすのは「会社」ではなく「人」。関西はそのような「改革を起こした人」が多い。「やってみなはれ」という文化が根付いていることが影響していると思う。
- ・ テレワークを積極的に活用している。仕事を行う場所は「新たなことに挑戦したくなる場所」であることを重視している。



■企業価値を高めるダイバーシティ戦略と関西の魅力

株式会社ワコールホールディングスダイバーシティ・グループ人事支援室 副室長 鳥屋尾 優子 様

- ・ 関西には経営理念をしっかりと持った会社が多い。関西は文化を大事にする方が多い。ワコールは、日本に洋装下着文化を根付かせる活動を行ってきた。
- ・ これまで女性活躍については、ワークライフバランスとキャリアアップを軸に行ってきた。
- ・ 女性活躍を進めるためには、まずはトップの本気の覚悟が必要。社長の考えを確認した後、社員の本音を聞いて、課題をあぶり出していき、「働きやすさ」や「働きがいの向上」などの課題に対して解決を図っていった。
- ・ 今後は全社員を対象に、個人の能力を発揮できる環境を目指していきたい。



■創業100年以上の中小企業における関西の魅力づくりと女性活躍

マックス株式会社 代表取締役社長 大野 範子 様

- ・ 創業115年の中小企業。社会に必要とされる企業であり続けるために、自治体や大学、地域のメーカーなどと連携しながら事業を行っている。
- ・ 女性活躍については、「働きやすい現場」と「消費者目線」の2つがポイント。
- ・ 製造ラインでは、軽量化を行うことで女性でも簡単に作業が行えるようになった。配合をシステム化し、「レシピ」を見ながら誰でも作業を行うことができるようになった。
- ・ 結果として、すべての工場でも女性のパートの方が働けるようになり、希望の出勤時間など対応することができるようになった。



<セッション2：躍動する関西ベンチャー！>

■革命的な認証システムによる新決済サービスの展開と関西の魅力 株式会社PAYROUTEインターナショナル代表取締役清水 友大 様

- 新しいセキュリティ認証技術を開発した。IDやパスワードを使用せずに認証が行えるため、「IDが多すぎて管理ができない」「パスワードを忘れた」というトラブルを心配する必要がない。
- 同一システムを使用した決済サービスも開始。IDと紐付けずに決済を行うことができる。
- 官民一体となって事業を行うことができることが関西の魅力。
- また、企業同士も結びつきやすく、関西でいろいろな企業と結びついたことでここまでできたと思っている。



■ソーシャルスタートアップのグローバル展開と関西の魅力 Voice4u株式会社 取締役 近藤 令子 様

- 自閉症や言葉の話しえない人のコミュニケーション支援アプリの開発等を行っている。
- 京都には、スタートアップを生み出し育てる風土がある。多くのスタートアップ企業が大企業に成長している。京都は職人の町であり、そこにもスタートアップのマインドがあると感じる。外国人も多くいるなど、多様性にも優れた町であると思う。
- これからは、人生で複数回のトライアンドエラーは受け入れられる時代になると思う。自分らしい生き方を探してほしい。関西での就職や転職は有利な選択肢となると思う。



■日本の“弁当”を世界の“BENTO”へと関西の魅力 株式会社BERTRAND 代表取締役 ベルトラン トマ 様

- フランスでは日本のアニメやゲームなどのカルチャーが人気であり、それをきっかけに日本に留学し、15年日本で暮らしている。
- 日本の魅力を海外に伝えるため弁当箱を販売する自社を立ち上げ、今では従業員22人となった。現在では100カ国以上から注文が来ている。
- 事業を行っている中で、海外への商品送付の際に必要な送り状の作成が非常に手間となっていた。そこで、送り状の作成を簡易に行える出荷管理システムを自社開発し、新たな事業として行うこととした。



<グループセッション・全体交流会>

■参加者から見た関西の魅力の一例

- 関西には観光のイメージを持っていたが、自転車通勤できるなど、暮らすイメージを初めて持てた。
- 関西で働いた経験があるが、関西の方が住みやすかった。また、人が穏やか。
- 関西ベンチャー企業のパワーが興味深い。ベンチャーの成功例をもっと聞きたい。
- 関西の活気を感じる。今後の関西でのビジネスの可能性も知れた。大阪出身者として、関西を盛り上げていきたい。
- 関西の魅力は巨大なマーケット。関西は西日本全体の拠点になる。
- 2025年の大阪・関西万博開催は首都圏の民間事業者にとっても魅力的。関西のインフラや利便性が更に良くなり、市場の拡大が見込める。



挨拶 近畿経済産業局
総務企画部長 桑原 靖雄



グループセッションご参加の皆様

■アンケートから見た参加者の関心事項など

- 参加者のうち【関西出身者】は約1/3。
- 参加者の【関心事項】は、約1/3が「関西企業とのビジネス連携」と回答。次いで、「関西に住むこと（転職+就職+移住）」「拠点作り」「営業拡大・販路拡大」と続いた。
- 参加者が思う【関西の魅力】は、約半数が「歴史・文化的な風土」と回答。次いで、「魅力的な中小企業の集積」「住みやすさ」「魅力的なマーケット」「2025年大阪・関西万博の開催」と続いた。